

令和元年度学校評価(自己評価)について

幼稚園における学校評価については、園における教育活動等の成果や取り組みを検証することにより、園の運営を園のみでなく保護者や地域の皆さんの理解と協力を得ながら園の環境整備を含め、幼児教育をより良い充実したものにするために実施しています。

令和元年度の学校評価(自己評価)を実施しましたのでその結果を公表し、今後の運営に生かしていきます。

1、教育目標及び理念

- * 自然からの恩恵ときびしさを感じ、自然を愛する子ども
- * 自分で考えて、工夫して、やり通すことができる子ども
- * 夢や希望やあこがれを持つことができる子ども

2、評価結果

認定子ども園に移行して2年目を迎えました。教育課程を基に年間保育計画を立案し保育の充実を実施しています。

また、令和4年に山形県造形教育連盟研究協議会田川大会で幼稚園部会の代表として発表をすることになり、田川地区の研究テーマ「未来へつながる学びのバトン」を意識して職員一丸となって保育を実践し、研修を行っています。まだまだ、研究途中である為、今後一層の意識向上に努めていきます。また、専門知識や技能の他に趣味やボランティアに関心が薄いことがわかりました。子育てや介護をしている職員が多く、仕事と家庭の両立で精一杯なことがうかがえます。仕事の効率化をはかり、心豊かにする時間を設けることができるように改善していきたいと思えます。

	評価項目	結果	内 容
1	保育の計画性	A	園の教育理念・教育方針をよく理解し、安全な環境構成を心掛けています。ただし、幼稚園教育要領について、さらに理解を深める必要があります。
2	保育の在り方、 幼児への対応	A	特にケガや事故への対応、清掃・換気・採光・室温に十分な対応が見られます。一人ひとりの幼児の良さを認める姿が見られます。
3	教師としての 資質や能力・ 良識・適性	A	保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもち、職務上知りえたプライバシーについてしっかりとした配慮が見られます。
4	保護者への対応	A	全ての保護者に対し親しみを持ち、信頼関係の継続を実践しています。
5	地域の自然や 社会とのかかわり	A	地域の方とのコミュニケーションの大切さを自覚し、協力していただいていることへの感謝を持ち、良好な関係を築くように努めています。
6	研修と研究	A	研修会や研究会に、自己課題を持ち参加しています。ただし、保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等への関心が若干不足しています。